



広島市乳幼児教育保育支援センターだより



令和6年度 第5号

乳幼児教育保育支援センターHP

☆☆☆ 今回は、市内の2つの小学校の幼保小接続の取組を紹介します。☆☆☆

乳幼児教育保育アドバイザーを活用して幼保小接続の取組を始めた小学校♪

中区にある
小学校の取組

1 新たな一歩 ～乳幼児教育保育アドバイザー派遣制度を活用～



昨年度までこの小学校では、小学校教諭が夏休みの期間を利用して、近隣の保育園を訪問し、保育参観や園の先生との情報交換をする取組を続けてきました。

今年度はその取組を発展させ、幼児教育・保育や就学前の子どもの姿について、より理解を深めるために、乳幼児教育保育アドバイザー派遣制度を活用し、小学校教諭が元保育園長であるアドバイザーと一緒に園を訪問しました。

2 幼児教育・保育の理解を小学校教諭が更に深める

この小学校では、保育参観及び園の保育士との協議に向けて、以下のような視点を持って園訪問をしました。

- ・ 小学校の指導内容と園での遊びのつながり
- ・ 幼児が遊びの中で気づいたこと
- ・ 保育士と幼児の関わりや見取り
- ・ 環境構成の工夫

園訪問の後は、小学校へ戻り、1年生の入学当初の学習規律、学習内容、給食などの指導の悩みなどについて小学校教諭同士で協議しました。その際、アドバイザーが、就学前の生活や遊びについて幼児教育・保育の視点から話をしました。

このような機会により、小学校教諭は、就学前のこどもたちが園で遊びを中心に育っていること、遊びがどれだけ重要であるかということなどについての理解を更に深め、1年生児童の4月の姿を振り返ってこどもの育ちを捉えたり、悩みの解決に向けて考えたりすることができました。



3 乳幼児教育保育アドバイザーを活用したこれからの取組



今回の取組を終えて校長先生は、「こどもたちの非認知能力の育成が重要である。そのためには幼児教育や家庭教育が重要であることを踏まえ、今後も乳幼児教育保育アドバイザー派遣制度を活用しながら、保護者や近隣の園をはじめ地域と連携して幼保小接続の取組を進めたい。今回はその第一歩になったと感じている。」と語っておられました。

小学校が近隣の幼児教育・保育施設と一緒に行う幼保小接続の取組♪

安佐南区にある
小学校の取組

1 乳幼児教育保育アドバイザー派遣制度を小学校が活用

この小学校では、夏休み期間中に、**小学校教諭が近隣の公立・私立の保育園・認定こども園を訪問し、保育実践を参観した後、各園の保育者と協議**しています。また、令和5年度からは、**幼保小接続についての校内研修を小学校で実施し、そこには、近隣の保育園・認定こども園の保育者も参加し、一緒に幼保小接続に向けた取組を進めています**。訪問・研修の際には、**乳幼児教育保育アドバイザー派遣制度を活用**していただいています。



2 園と小学校の先生と一緒に幼保小接続カリキュラムを“見直し”!!!



このようなお話も
しておられました♪

この小学校区で続けてきた、これまでの幼保小連携に加え、昨年度から始めた研修の取組を踏まえながら、**小学校教諭と園の保育者が園児と児童の姿を真ん中において、カリキュラムの見直しを開始**しました。

これまで接続カリキュラムに記載していた、いわゆる“架け橋期”のこどもの姿に園と学校とでは、ズレが生じていることに小学校教諭が気づき、**よりこどもの実態に応じたカリキュラムの作成に取り組んで**います。

「園では、子どもの興味・関心から環境を工夫して活動を展開するので、カリキュラムの文言は、“～できる”より、“～しようとしている”とするほうが適切かもしれません。」(園の先生)



「そうすると、アプローチカリキュラムの文言は、そのように修正していくとよいですね。」(小学校の先生)

3 幼保小接続の取組を行う先生方のお話

昨年度から、この小学校区の幼保小接続の取組を中心となって進めている小学校教諭は、「**幼保小接続は本当に重要だと思う。まだ、私だけでは分からないことも多く、校内・地域の園の皆さんの力を借りながら進めている。報告・交流だけの連携ではなく、ともに考え、ともに学び、みんなでやる幼保小連携にしたい。**」とこどもと関わるあらゆる立場の人が**一緒に取り組む必要性**を語っておられました。

また、校長先生は、「私は、**幼保小接続の取組は、園と小学校そして地域が一体となって進めていくことが重要だ**と思っている。小学校教諭は転勤があり、その良さと怖さがある。転勤等によりこどもにとっての人的環境が変わっても、**こどもたちのために学区で確実に幼保小接続の取組を継続**できるようにしていきたい。」と語っておられました。

アドバイザーを活用した幼保小接続に取り組みたい小学校・園等の皆様、当センターへお気軽にご連絡ください。



お問合せ先 広島市乳幼児教育保育支援センター
〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号
TEL: (082) 504-2833
FAX: (082) 504-2255

